

鹿児島市長 森 博 幸 殿

報告者 主たる事務所

の所在地 鹿児島市皆与志町 2503 番地

法人の名称 社会福祉法人 落 穂 会

電話番号 099-238-4821

代表者住所 鹿児島市皆与志町 2503 番地

氏 名 理事長 水 流 國 大



社 会 福 祉 法 人 現 況 報 告 書

社会福祉法施行規則第 9 条第 1 項の規定により、平成25年 4 月 1 日現在の社会福祉法人現況について下記のとおり報告します。

記

設立認可年月日		昭和 35 年 5 月 31 日	設立登記年月日	昭和 35 年 7 月 14 日		備 考
		種 類 及 び 名 称	所 在 地	事業開始年月日	定員	
事 社 会 福 祉 事 業	第1種	障害児入所施設 あさひが丘学園	鹿児島市皆与志町 2503	昭和 33.08.01	40	
		障害者支援施設 あさひが丘 入所支援	〃 〃	平成 23.04.01	40	
		生活介護	〃 〃	〃	75	
		障害者支援施設 旭福祉センター 入所支援	〃 岡之原町 986	平成 24.04.01	30	
		生活訓練	〃 〃	〃	20	
		就労移行	〃 〃	〃	10	
		就労継続B型	〃 〃	〃	10	
	第2種	短期入所事業 あさひが丘学園・旭福祉センター	鹿児島市皆与志町 2503・岡之原町 986	平成 13.04.01		
		居宅介護・行動援護・重度訪問介護事業	〃 岡之原町 1392	平成 18.04.01		
		ヘルパーステーションとわ				
		共同生活介護・共同生活援助事業	〃 岡之原町 986	平成 18.10.01	29	
		グループホーム・ケアホーム 落穂会				
		共同生活介護・共同生活援助事業	〃 皆与志町 2503	平成 24.02.01	26	
		グループホームあさひが丘				
		生活訓練 第二旭福祉センター	〃 岡之原町 989-1	平成 24.04.01	12	
		就労移行支援事業 カフェレストラン NODOKA	〃 岡之原町 953-1	〃	8	
		就労継続支援B型 ベーカリー 楓	〃 岡之原町 953-1	〃	20	
放課後等デイサービス	〃 岡之原町 1392	平成 23.04.01	20			
こどもサポートセンター我路						
児童発達支援センター	〃 岡之原町 1392	平成 24.10.01	20			
こどもサポートセンター我路						
就労継続支援B型	〃 岡之原町 1392	平成 24.10.01	20			
ワークショップあすもね						
指定一般・特定・障害児相談支援事業			平成 24.10.01			
あさひが丘相談支援センター						
児童発達支援事業 ガーデンキッズセルク	〃 呉服町 6-5	平成 24.07.01	10			
保育所等訪問支援 ガーデンキッズセルク	〃 呉服町 6-5	平成 25.06.01				
地域生活支援事業	移動支援事業 ヘルパーステーションとわ	鹿児島市岡之原町 1392	平成 18.04.01			
	日中一時支援事業		平成 18.04.01			
	障害者支援施設あさひが丘	〃 皆与志町 2503	平成 23.04.01			
	地域生活支援センターあさひが丘	〃 岡之原町 1392	平成 24.10.01			
	ガーデンキッズセルク	〃 呉服町 6-5	平成 24.07.01			
相談支援事業 あさひが丘相談支援センター	〃 岡之原町 1392	平成 24.10.01				

		事業の概要					事業開始年月日						
公益事業		子育て支援に関する事業 認可外保育所 ガーデンキズマルヤ					平成23年 4月 1日						
収益事業		なし											
定数		理事		6名(6)		監事		2名(2)		評議員		13名(13)	
理事・監事	役職	氏名	現就任年月日	年齢	職業	親族等特殊関係人の有無	役員の資格等 (該当に○)					理事会等への出席回数	
							知識経験者	地域福祉関係	地域代表者	施設長	その他		
理事・監事	理事長	水流 國大	H25.04.01	77	施設長					○			毎回出席
	理事	瀬戸口吉三郎	H25.04.01	76	松和会理事		○						〃
	理事	水流 寿美子	H25.04.01	72	施設長	理事長の妹				○			〃
	理事	村山 徳男	H25.04.01	81	青鳥会理事		○						〃
	理事	増山 積	H25.04.01	83	明和会理事		○						〃
	理事	塩屋 重徳	H25.04.01	75	市育成会評議員			○					〃
	監事	児玉 力雄	H25.04.01	81	元市育成会役員			○					〃
	監事	有馬 昭彦	H25.04.01	69	税理士		○						〃
評議員	定数	13名(13)											
	評議員	水流 國大	H25.04.01	77	施設長					○			毎回出席
	評議員	瀬戸口吉三郎	H25.04.01	76	松和会理事		○						〃
	評議員	水流 寿美子	H25.04.01	72	施設長	理事長の妹				○			〃
	評議員	村山 徳男	H25.04.01	81	青鳥会理事		○						〃
	評議員	増山 積	H25.04.01	83	明和会理事		○						〃
	評議員	塩屋 重徳	H25.04.01	75	市育成会評議員			○					〃
	評議員	米満 鐵男	H25.04.01	83	元町内会役員				○				〃
	評議員	厚地 敏子	H25.04.01	73	民生委員			○					〃
	評議員	室屋 寛之	H25.04.01	79	保護者会長(旭)						○		〃
	評議員	田畑 安夫	H25.04.01	68	保護者会長あさひ						○		欠席1回
	評議員	水流 純大	H25.04.01	49	施設長	理事長の長男				○			毎回出席
	評議員	野田 光徳	H25.04.01	64	副施設長						○		〃
評議員	上村 伸雄	H25.04.01	66	町内会長				○				〃	
施設長	施設名		氏名		就任年月日		年齢		法令で定める資格の有無				
	あさひが丘学園		水流 純大		平成11年9月1日		49		有				
	障害者支援施設あさひが丘		〃		平成23年4月1日		49		有				
	地域生活支援センター		〃		平成24年10月1日		49		有				
	障害者支援施設旭福祉セン		水流 寿美子		平成 9年4月1日		72		有				
〃 第二旭福祉		水流 健一		平成23年1月1日		42		有					
開催年月日		出席者数		決議事項							備考		
第1回理事会 平成24年 4月28日		6名		1 地域生活支援センターあさひが丘(仮称)厨房設備工事の落札決定業者との工事契約について 2 地域生活支援センターあさひが丘(仮称)新築工事に伴う新規購入備品の落札納入業者との購入契約について									
第1回評議員会 平成24年5月29日		12名		1 平成23年度法人並びに各施設の事業報告について 2 平成23年度法人並びに各経理区分の決算および監事監査結果について 3 障害児入所施設(児童部)の新体系移行小規模グループケア施設の整備について 4 第二旭福祉センターの運営規程の変更について 5 旭福祉センター 蔬菜作業用地購入及び補正予算について									
第2回理事会 平成24年5月29日		6名		1 平成23年度法人並びに各施設の事業報告について 2 平成23年度法人並びに各経理区分の決算および監事監査結果について 3 障害児入所施設(児童部)の新体系移行小規模グループケア施設の整備について 4 第二旭福祉センターの運営規程の変更について 5 旭福祉センター 蔬菜作業用地購入及び補正予算について									
第2回評議員会 平成24年10月11日		13名		1 地域生活支援センターあさひが丘の各種規程の制定及び各事業所の運営規程の改正について 2 地域生活支援センターあさひが丘各事業の予算について 3 地域生活支援センターあさひが丘のセンター長の任命について 4 旭福祉センター 車庫新築工事について 5 各経理区分の補正予算について 6 基本財産増加に伴う定款の一部改正について									

			7 あさひが丘学園建物の用途変更について	
第3回理事会	6名		1 地域生活支援センターあさひが丘の各種規程の制定及び各事業所の運営規程の改正について	
平成24年10月11日			2 地域生活支援センターあさひが丘各事業の予算について	
			3 地域生活支援センターあさひが丘のセンター長の任命について	
			4 旭福祉センター車庫新築工事について	
			5 各経理区分の補正予算について	
			6 基本財産増加に伴う定款の一部改正について	
			7 あさひが丘学園建物の用途変更について	
第3回評議員会	13名		1 平成24年度各経理区分の補正予算について	
平成25年3月21日			2 平成25年度法人本部・各施設の事業計画並びに各経理区分の当初予算について	
			3 平成25年度賞与支給月数について	
			4 定款の一部改正について	
			5 経理規程の一部改正について	
			6 就業規則の一部改正について	
			7 給与規程の一部改正について	
			8 乗馬クラブの開設準備について	
			9 施設長・副施設長の定年延長について	
			10 評議員・役員(理事・監事)の改選について	
			11 落穂会の福祉サービスに関する相談・苦情解決の第三者委員について	
第4回理事会	6名		1 平成24年度各経理区分の補正予算について	
平成25年3月21日			2 平成25年度法人本部・各施設の事業計画並びに各経理区分の当初予算について	
			3 平成25年度賞与支給月数について	
			4 定款の一部改正について	
			5 経理規程の一部改正について	
			6 就業規則の一部改正について	
			7 給与規程の一部改正について	
			8 乗馬クラブの開設準備について	
			9 施設長・副施設長の定年延長について	
			10 評議員・役員(理事・監事)の改選について	
			11 落穂会の福祉サービスに関する相談・苦情解決の第三者委員について	

不動 の 所有 状況	所在地	面積 ㎡	評価額 (千円)	担保提供状況					備考
				提供 年月日	借入金 (千円)	借入先	償還 期限	基本財産については 所轄庁の承認の有無	
平成 25 年 3 月 31 日 現在	鹿児島市皆与志町 2499	1,397.00		H11.2.22	81,000	福祉医 療機構	20年	有	
	〃 2502	1,018.00		〃	〃	〃	〃	〃	
	〃 2503	1,084.00		〃	〃	〃	〃	〃	
	〃 2504	892.00	53,956	〃	〃	〃	〃	〃	
	〃 2496-2	92.79	1,500						
	〃 2498-1	943.00	15,000						
	鹿児島市岡之原町 1392-1	1,987.00	18,500						
	1393-5								
	〃 985-1	1,237.00	9,200						
	〃 988	1,021.00	10,000						
	〃 1065-5	364.04	9,000						
	〃 953-1	357.00	8,000						
	〃 956-3	265.05	6,000						
	〃 952-1	376.00							
	〃 1167-1	732.00	6,300						
	〃 1168-1	679.00	7,600						
〃 987	1,150.00	25,875							
〃 986-1	932.04	20,970							
〃 1392-1	1987.00								
〃 1393-5	1393-5								

建 物	鹿児島市皆与志町 2499 2502,2503,2504 番地 あさひが丘学園児童部・成人部居住 棟・作業棟 ケアホーム住宅 鹿児島市岡之原町 977,986 993,989-1,986 番地先	3,567.45	318,666	H11.2.22	81.000	福祉医 療機構	20年	有
	旭福祉センター居住棟・作業棟 鹿児島市本名町 1722-1 旭福祉センター吉田作業場 鹿児島市岡之原町 989-1 第二旭福祉センター生活訓練 鹿児島市岡之原町 953-1 第二旭福祉センター就労移行 ベーカリーショップ NODOKA 第二旭センター就労継続 B 型 ベーカリー棟 鹿児島市岡之原町 956-3 グループホーム「チューリップ」 鹿児島市岡之原町 8952-1 グループホーム「さくらさくら」 鹿児島市岡之原町 8952-1 グループホーム「なでしこ」 鹿児島市岡之原町 1392-1 地域生活支援センターあさひが丘	1,781.86	51,936					
		572.30						
		285.00	53,000					
			13,672					
		76.72	7,576					
			30,304					
		73.00	22,929					
		76.18	5,465					
		90.09	8,767					
			27,090					
		123.65	19,152					
		1354.18	168,912					

平成25年6月26日

## 平成24年度の主な事業報告

社会福祉法人 落穂会

I あさひが丘学園・障害者支援施設あさひが丘・地域生活支援センターあさひが丘

### 1 平成24年度重点目標に対する事業報告

平成24年4月より改正障害者自立支援法及び改正児童福祉法が施行され、また、平成25年4月より障害者総合支援法が施行された。改正法による制度変更と新法の内容を見極めながら、昨年度は下記の事項を重点目標に掲げ事業を推進した。

(1) 利用者の個別ニーズを適確に把握し、そのニーズに応じたサービスの提供が行えるような専門的支援技術の向上を図る。

職員の個別支援計画作成能力を高めるために、4月の園内研修で「個別支援計画の作成について」を行なうとともに、5月から7月までの間に、個別支援計画作成のための個別研修を全ての直接処遇職員に実施した。

(2) 入所施設利用者の生活の質を向上させる取り組みを推進する。今年度は特に食生活の充実を図ることを重点目標とする。

昨年度は、生活支援の3要素である「衣・食・住」の中の「食」の充実に重点的に取り組んだ。利用者・職員へのアンケート調査の実施や休職会議での意見交換等を通じて委託業者への要望等を行ない、食材料・献立・味付け等の改善を図った。また、楽しい雰囲気ですごすことができるようBGMを流したり、一部利用者には自由な食席で食することができるような配慮を行なった。

(3) 利用者一人一人のニーズに応じた日中活動(生活介護)を実施する。

生産活動系グループにおいては、委託作業(公園清掃・目杭・箱の組み立て)や花苗栽培等の作業に取り組み、常時利用者1人当たり平均39,707円(年額)の工賃を支給することができた。また、生活介護系グループにおいては、日常生活介護や陶芸、紙すき、ビーズモザイク、手芸等の創作活動を行うとともに、やまびこ医療福祉センターの医師・理学療法士の指導の下、利用者へのリハビリテーションを実施し、健康の維持・増進、情緒の安定を図るよう支援した。

(4) 平成24年10月開設予定の地域生活支援センターの開設準備を計画的に行い、スムーズな開設を目指すとともに、開設後は各在宅サービスを安定的に提供し、利用者の増大を図る。

地域生活支援センターあさひが丘の開設準備を計画的に行い、予定通り平成24年10月に開設することができた。開設後の利用者数については、継続事業である放課後等デイサービスは順調に利用者が増え、新規事業の児童発達支援も定員を上回る契約者数となっており、両事業ともそれぞれ定員を15名から20名に増員した。就労支援B型は利用者数が6割程度にとどまっているため、今後利用者の増大に向けての取り組みが必要である。

また、地域生活支援センターだよりの年2回(9月・3月)の発行やホームページ等を通じて広報活動を行うとともに、昨年度から本格的に始まったサービス利用計画の作成についても利用者の

要望に応じて可能な限り取り組んだ。

(5) 職員の研修を充実させるとともに、職員の人材育成を推進するために教育・研修要綱を作成する。

統括主任及びチーフが参加する人事考課検証会議を年2回実施し、人事考課の制度を高めるとともに、新任職員にたいしては育成面接を年2～4回(1年目職員は年4回、2年目職員は年2回)実施し、新任職員の育成を推進した。また、幹部職員及びその他の職員の職能要件書の見直しを行った。

目標に掲げていた幹部職員に対する目標管理シートの作成と活用や教育研修要綱の作成は未達成であったため、今年度の課題としたい。

(6) 児童部(障害児入所施設)の将来像についての検討を行い、必要に応じて移行作業をすすめる。

児童部は入所定員を40名から28名に削減し、12名を既存の障害者支援施設に合併させる方針を決定した。28名の児童入所は1ユニット7×4ユニット小規模グループケア施設として新たに整備することとし、県に施設整備要望書を提出したが、残念ながら平成25年度予算には採択されなかった。今年度も引き続き施設整備の要望を提出し、なるべく早い段階で小規模グループケア施設を開設できるように努力したい。

## 2 その他の事業報告

(1) 利用者の口腔内の状態を清潔に保っていることが評価された。

利用者の口腔内の状態を清潔に保っていることが評価された。鹿児島県地域歯科保健連絡が主催する研修会で看護師が事例報告を行った。また鹿児島大学歯学部佐藤医師の指導を受けながら、利用者の摂食能力の向上等の支援を行った。

(2) 個人または小グループごとの買物外出

すべての利用者を対象として、個人または小グループごとの買物外出を計画的に実施した。利用者によっては公共交通機関を利用する等、社会参加には配慮した支援を行った。

(3) データベースソフトの活用

平成21年度から導入しているデータベースソフトを活用し、昨年度は相談受付票やフェイスシート、個別支援計画書式の見直しをおこなう。この一連の流れから、平成25年度は職員情報管理コードの入力システムを確立し、システムのバージョンアップを行い文書管理体制の充実を図る予定である。

(4) ホームページの活用

地域生活支援センターに関する情報提供等にホームページを活用した結果、地域生活支援センターの問い合わせや絵本等の寄贈、求人への応募等、一定の反響があった。

## II 旭福祉センター・第二旭福祉センター

### 平成24年度重点目標に対する事業報告

平成24年度は大きな事業新設、改修工事等もなく、施設経営の安定化を図りつつ利用者支援の向上、作業の効率化を重点課題として取り組んだ1年となった。その他にも以下に掲げる事項を重点目標とし、円滑なる実践に努めた。作業部門においても中長期的な展望での製販計画を立案、各作業班の計画達成を目標に掲げ、計画的な実践に努めた。

#### (1) 利用者の支援の向上を図り、支援情報の共有化を模索する。

支援のレベルアップを図るため、職員間での情報共有化を強化すべく、作業部署ごとの利用者情報連絡会議を定例化、支援に必要な情報共有に努めた。職員の意識向上に伴い、徐々に情報の共有化が図られるようになった。

#### (2) 新人事管理制度の円滑な遂行。

新人事制度の円滑な遂行を目標に人事考課を実施した。以前より絶対評価の意識は向上してきたが、今後さらに考課者の評価基準の統一、徹底を図っていきたい。

#### (3) 支援委員会・業務改善委員会の円滑な運営を実施

4つの支援委員会(生活・地域・作業・事務炊事)に職務を分担、円滑な運営に努めた。又、5つの業務改善委員会を企画運営し、それぞれ①[余暇、自治活動の改善]・②[職場における意識改善]・③[施設行事(宿泊キャンプ・新年会)の円滑な運営、実施]・④[施設内外行事(バーベキュー・忘年会)の円滑な運営、実施]⑤[施設内外行事(各種バザー・1日旅行)の円滑な運営、実施]を主眼に活動した。

①自治会役員を中心に自治会活動を行い、入所生活における生活環境の向上を模索、以前と比較してより利用者の快適な生活環境の向上が図られた。

②朝礼や職員会議での啓発活動(挨拶・服装・利用者の呼称についてなど)を実施、職場内の意識向上を図った。

③④⑤ 各種行事の円滑な運営を目標に、早めの計画立案に着手、効果を上げていた。(各種バザー(11ヶ所)への参加、職員・入所利用者による外出2回、宿泊キャンプ、新年会、忘年会、通所・入所利用者合同の日帰り旅行の実施など)

#### (4) 各種バザーへの参加を強化

24年度は計11回(うち、今年度新規は1つ)のバザーに参加、授産事業の広報活動、売上向上に努めた。

#### (5) 授産事業の改善

事業ごとに24年度の製販計画を立案、各部署それぞれ計画達成を目標に、日々実践に努めた。又各部署それぞれに職員の役割分担を明確にし、業務体制を見直すことで各事業の効率化を図った。